

活動報告（4月レポート）

担当：県西部農林事務所企画経営課

表題：**万が一の豚コレラ発生に備え、初動態勢や防疫作業の手順を確認しました**

日時：平成31年4月9日（火曜日）

会場：県浜松総合庁舎大会議室（浜松市中区）

昨年9月以降、国内で相次いで豚コレラが発生している状況を受け、また、新年度となり、新たな体制で危機管理を行っていくため、県西部農林事務所は、4月9日（火曜日）、所内の職員を対象に、「豚コレラ対応意見交換会」を開催しました。

意見交換会には、約50人の職員が参加し、まず、畜産担当の職員から、豚コレラに関する基本的な知識や、県内で発生した場合の防疫対応のタイムスケジュール、実際の防疫作業の手順等について、詳しい説明を受けました。

職員らは、通報、患畜判定から終息に至るまでの時間軸に沿って、それぞれの役割を確認しました。

畜産担当職員からの説明後、参加した職員からは質問や意見などが多数出され、認識や危機管理意識を共有する有意義な意見交換会となりました。

静岡県内では、現在のところ、養豚農場及び野生いのししから豚コレラは確認されていませんが、県内への豚コレラウイルスの侵入を防ぐため、県境の湖西市新居町に畜産関係車両のための消毒ポイントを再設置しました。

（3月29日）

畜産農場に出入りする皆様には、引き続き、車両や靴、手指の消毒や、衛生管理区域専用の衣服及び靴の着用を行っていただき、豚コレラの感染拡大防止に御理解と御協力をお願いいたします。